

気象防災アドバイザー育成研修のカリキュラム

【演】：ワークショップや訓練など演習による講座

	時間	講座名	1 限目		2 限目		3 限目		4 限目		5 限目	
			09:30~10:10	10:15~11:45	12:45~13:30	13:45~14:30	14:45~16:00	16:15~17:30				
1. 防災基礎コース (20講座)	1 日目	講座名	オリエンテーション①	危機管理総論 (1)	危機管理総論 (2)	防災計画	災害発生メカニズムと実態 (風水害)	ハザードとリスク・脆弱性				
	2/10 (土)	講座概要	研修全般の内容について説明します。	防災・危機管理の基本的な考え方を学びます。	防災・危機管理の基本的な考え方を学びます。	防災活動全体の流れに関連する各種防災計画を学びます。	風水害の発生メカニズムと、災害による被害を理解し、地方公共団体の対応のポイントを学びます。	災害対応マネジメントの前提条件となるハザードとリスク・脆弱性との関係について学びます。				
	2 日目	講座名	オリエンテーション②	防災行政概要/災害法体系	警報の種類と内容	災害報道 (メディア)	事業継続マネジメント(BCM)					
	2/11 (日)	講座概要	地方公共団体において平時・災害時に求められる仕事について学びます。	国・地方公共団体が実施する防災活動全体の流れと防災活動の主な内容、関連する基本的な法律について学びます。	気象予測技術の現状及び気象庁から予測技術を踏まえて段階的に発表される警報等 (警報級の可能性を含む) にはどんなものがあるかを学びます。	メディアを通じて発信される災害時の多様な情報の種類、内容と、報道機関を通じた市民向け情報提供のポイントを学びます。	BCMの意味とBCP策定のポイントについて学びます。					
	3 日目	講座名	警報避難の枠組み	河川に関する防災情報	避難勧告等に関するガイドライン	土砂災害における警報と避難	地方公共団体における対応・対策の実態 (土砂災害)					
	2/17 (土)	講座概要	警報避難に関する基本的な考え方と事前対策を学びます。	洪水予報、氾濫危険水位の意味など、河川に関する防災情報の体系について学びます。	避難勧告等に関するガイドラインの内容とポイントについて学びます。	土砂災害における警報と避難の実務について、実事例を交えて学びます。	土砂災害の対応経験をした地方公共団体職員より、防災対応の実態及び災害を踏まえて取り組んでいる対策について学びます。					
4 日目	講座名	風水害における警報と避難	地方公共団体における対応・対策の実態 (風水害)	【演】 避難判断・伝達のタイミングとポイント	【演】 避難の方法と避難場所・避難所	災害広報 (情報発信)						
2/18 (日)	講座概要	風水害における警報と避難の実務について、実事例を交えて学びます。	風水害の対応経験をした地方公共団体職員より、防災対応の実態及び災害を踏まえて取り組んでいる対策について学びます。	水害・土砂災害発生前から発生に至る時間経過の中で避難勧告等の判断・伝達のタイミングと実施上の留意点について学びます。	住民等の避難行動に関する方法、到達先となる避難場所・避難所にどんなものがあるか、演習を交えて学びます。	警報や避難などを始め、災害時の多様な情報の提供方法、広報のポイントについて学びます。						
2. 防災気象情報コース (12講座)	5 日目	講座名	国の危機管理と気象庁の役割 気象庁の組織と業務概要及び地方気象台の業務概要	気象台による地方公共団体への支援	防災気象情報について①	防災気象情報について②	防災気象情報について③					
	3/3 (土)	講座概要	国・気象庁の危機管理体制、関係省庁との連携、気象庁の組織と業務概要および地方気象台の業務概要について学びます。	気象台における地方公共団体の防災対策への支援について学びます。	気象庁の防災気象情報の種類・特徴等を詳細に学びます。(気象観測の概要等)	避難勧告等と気象庁が発表する警報等 (警報級の可能性や危険度分布を含む) との関係について、基本的な考え方を学びます。	気象庁の防災気象情報の種類・特徴等を詳細に学びます。(解析雨量、降水短時間予報、ナウキャスト)					
	6 日目	講座名	防災気象情報について④	防災気象情報について⑤	防災気象情報について⑥	防災気象情報について⑦	防災気象情報について⑧					
	3/4 (日)	講座概要	気象庁の防災気象情報の種類・特徴等を詳細に学びます。(台風)	気象庁の防災気象情報の種類・特徴等を詳細に学びます。(高波・高潮の現象や防災上注意すべきことを中心に説明)	避難勧告等と気象庁が発表する警報等 (洪水・浸水対策関連) との関係について詳細に学びます。	避難勧告等と気象庁が発表する警報等 (洪水・浸水対策) の技術について基本的な考え方を学びます。(土砂災害対策)	避難勧告等と気象庁が発表する警報等 (土砂災害対策関連) との関係について詳細に学ぶとともに用いている技術について基本的な考え方を学びます。					
7 日目	講座名	【演】 気象庁の防災情報提供システムについて	【演】 気象情報の活用実習	/								
3/10 (土)	講座概要	気象庁のホームページ及び防災情報提供システムの操作等について学び、同システムを利用した気象情報の読み解きの実践を行います。	気象庁の防災情報提供システム、気象庁HP、市・県のHPを利用した気象情報の読み解きを行い、避難勧告等との関係について理解を深めます。									
3. 実践コース (18講座)	7 日目	講座名	/		地形と災害	【演】 災害発生前後の対応イメージトレーニング						
	3/10 (土)	講座概要			地域特性を理解することの一環として、地形と災害の関係性について学びます。	災害発生前から発生に至る時間経過に伴い、状況が変化の中で地方公共団体による体制構築、実施すべき初動対応、避難勧告等の判断・伝達のポイントについて演習を通じて学びます						
	8 日目	講座名	【演】 気象庁ワークショップの実施		地方公共団体の災害対応支援② (首長補佐)	【演】 災害コミュニケーション「適切な話し方・適正な資料の作り方」						
	3/11 (日)	講座概要	市町村の防災担当者向けの気象庁ワークショップを実施します。		地方公共団体での災害対応を支援する上での心構え、ポイントについて、首長補佐経験者から学びます。	災害時の多様な情報の提供や報道機関対応を行う上でのコミュニケーションの取り方について、演習を交えて学びます。						
	9 日目	講座名	【演】 事前対策(タイムラインの策定)の検討・演習		訓練企画の枠組み等	【演】 状況付与型図上訓練						
3/17 (土)	講座概要	風水害・土砂災害における事前対策の進め方、タイムライン策定の意義、警報と避難を関係づけたタイムライン計画の作成方法について学びます。		災害対応や防災に関する訓練企画の全体像と訓練手法、訓練企画手法を学びます。	災害対策本部運営訓練を経験し、災害発生前後の組織的な対応を疑似体験するとともに、地方公共団体で訓練を企画運営する際のポイントについて学びます。							
10 日目	講座名	地方公共団体の災害対応 (気象防災アドバイザーに求められる役割)	地方公共団体の災害対応支援① (業務支援)	【演】 災害対応過程を学ぶ							全体討論・閉講式	
3/18 (日)	講座概要	地方公共団体の防災対応にあたり、気象防災アドバイザーに期待されること、実際の現場で求められることを、派遣経験者よりうかがいます。	地方公共団体での災害対応を支援する上での心構え、ポイントについて、実際に災害対応を実施した職員から学びます。	水害・土砂災害対応従事者による経験談(記録)を活用した演習を通じて、地方公共団体の防災対応について疑似体験するとともに、地方公共団体で演習を企画運営する際のポイントについて学びます。							全体討論、閉校式を行います。	